

金井中だより

令和5年2月20日

第10号

校長 仙北屋正樹

私の名前は鈴木です
の言い方

英語

My name is Suzuki

(マイネームイズスズキ)

スペイン語

Mi nombre es Suzuki

(ミノンブレエススズキ)

明日は都立受検！合格できる気持ちを持って

明日、2月21日（火）は都立高校の受検日です。もう進学する高校が決まっている人もいますが、都立高校を目指す人もたくさんいます。この受検が終わると、大指部分の人が高校受験を終えることになるといっばいだと思いませんか。それを取り除こうとしても、なかなかうまくはいかないものです。でも、その気持ちを過度に大きくしてしまわないでください。人間は、物事を悲観的にとらえるタイプの人が多いです。おもしろいことに、どちらの考え方をしても、大部分の物事は結果が同じです。つまり「心配しすぎてもしょうがない」ということなのです。しかし「受検」は少し違えます。悲観的に考えすぎると、その気持ちは不合格へと導いていきます。つまり悲観的に考えすぎると、それは自信を失わせ、不安をあおり、本番で実力を発揮させない方向へ引っ張ります。できる問題でも、ミスをおこすことになるのです。みなさんは、ここまで多くの勉強をしてきました。十分準備をしてきたのです。不安を感じるよりも、やってきたことへの自信を持ちましょう。今日は、早めに寝て明日に備えましょう。そして「楽観的」という気持ちで寝て下さい。きっと合格した夢が見られますよ。「悲観的」な気持ちは、明日家においていて下さい。在校生、先に進学先が決まった友達、みんなが応援しています。頑張れ！



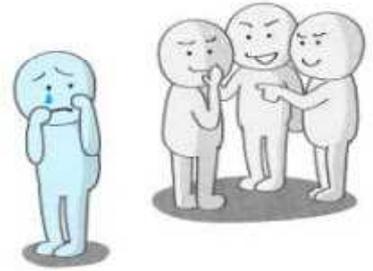
インドネシアの音楽「ガムラン」不思議な調べ

2月3日（金）の5・6時間目に、2年生は国際理解教育の一環として、インドネシアの「ガムラン」という音楽を知る学習に挑戦しました。ガムランとは「インドネシアを代表する音楽で、現在もインドネシアの人々の生活に深く結びついており、結婚式や誕生日など人生の節目にあたる大事な儀式や祭礼の折に演奏されています。青銅打楽器を中心とした大編成のアンサンブルで、その荘厳で豊かな響きは、インドネシアのみならず、世界中の人々を魅了しています。」日本で言うと「雅楽」と同じ意味のものだと思います。当日は、日本ガムラン音楽振興会のみなさんの協力を得て、東京音楽大学の樋口先生の説明をリモートで聴きながら体験してみました。演奏に使われている楽器は初めてみるものばかりで、また、音楽も初めて耳にしたものでした。でも、イメージは「アジア」を連想させてくれる音色でした。音楽とともに、インドネシアのことも映像などを交えて説明してくださったので、まるで海外旅行に行ったような気分になりました。樋口先生の指導の下で、ガムランの音楽を手拍子で体験してみました。各クラスごとにそれぞれ違うリズムを手拍子で表し、それを演奏に乗せて表現してみると、何と不思議なことに演奏にぴったりの手拍子になるのです。なかなかおもしろい体験でした。その後、映像にガムランに合わせたダンスが紹介され、みんなでその踊りに挑戦して見ました。一番の特徴は、首を左右にずらしながら踊る部分です。結構難しいのですが、生徒のみなさんはかなりマスターできていました。びっくりです。ちなみに私は首が痛くなりました。若さはいいですね。また、様々な国々の文化を紹介できる機会を設けたいと思います。



町田市中学生フォーラムに生徒会が参加！

1月24日（火）に町田市で初めての企画である「町田市中生フォーラム」開催されました。このフォーラムは、町田市中生立各中学校各校2名の代表生徒が集まって、学校生活の交換する場とするもので、今回のテーマは「いじめ防止に向けて」という題で、町田市全体でいじめ防止について考えることになりました。本校からは、生徒会のK・MさんとA・Yさんが代表として参加してくれました。会は、全体を6グループに分けて、そのグループ内で各学校がいじめ防止のために日々取り組んでいることを基に、自分たち自身にできることを話し合い、市内の児童・生徒に向けたメッセージをまとめるという形で進行されました。KさんとAさんは、本校で行っているアンガーマネジメント教育について発表し、いじめ防止に役立っていることを説明してくれました。他校では行っていない学習なので、いろいろな学校からその内容などについて多くの質問があったようです。その質問にも丁寧に答えてくれていました。約2時間の会議でしたが、有意義な会になったようです。各グループで作成されたメッセージをお伝えします。みなさんと協力し、町田市からいじめをなくしましょう。



ネット教育について発表し、いじめ防止に役立っていることを説明してくれました。他校では行っていない学習なので、いろいろな学校からその内容などについて多くの質問があったようです。その質問にも丁寧に答えてくれていました。約2時間の会議でしたが、有意義な会になったようです。各グループで作成されたメッセージをお伝えします。みなさんと協力し、町田市からいじめをなくしましょう。

作成されたメッセージ

Aグループ（町田一・成瀬台・武蔵岡）

「抱え込まずに L e t s 報・連・相」

☆報連相というのは報告・連絡・相談の略。報告、連絡は周りが気づいてするものであり、相談は困ったときに自分がするものであるため、周りも自分も抱え込まずに報連相してほしい。

Bグループ（町田三・鶴川・木曽）

「事実！いじりはいじめに変化する！」

☆小さいいじめをなくせば、大きいいじめはなくなる
いじめがなぜ起こってしまうか知ってもらうため

Cグループ（町田二・山崎・真光寺・小山田）

「つくる・知る・寄り添う ～みんなで変わろう～」

☆つくる→いじめが起きない雰囲気や環境、良好な関係
知る →いじめ、相手や自分、逃げ場があるということについて
寄り添う→加害者、被害者、傍観者にも寄り添っていく

Dグループ（南・つくし野・小山）

「いじめを する人の「ごめんなさい！」の勇気

される人の「助けて！」の勇気

見ている人の「大丈夫？」の勇気」

～勇気を持って行動に～

Eグループ（南大谷・南成瀬・忠生）

「笑顔は続くよどこまでも ～みんなでつくる温かい場所～」

☆いじめをなくすのではなく、そもそもいじめを起こさないということ
コンセプトにしました。

Fグループ（鶴川二・薬師・金井・堺）

「認め合おう ～いじめゼロの環境作り～」

お知らせ

・毎週金曜日に行っている朝の健康チェックは、回を重ねるごとに忘れる人が減ってきています。2月17日（金）は、1年生11人・2年生は5人・3年生は12人で全体では28人という最高記録を樹立しました。しかし、まだ28人の人が忘れてしまっている状態です。理由の多くは、うっかり忘れてしまった人が多いようです。また、毎回同じ人が忘れていく傾向にあります。これは大事な健康チェックです。毎日カードを持ってくるようにしましょう。そして、一日も早く学校全体で忘れゼロが達成できるようにみなさんと努力していきましょう。